

今日のキーワード 第2次ルセフ政権の「財政再建」(ブラジル)

ルセフ大統領は、来年1月から2期目を迎えます。再選を決めた10月の大統領選挙で苦戦を強いられた背景には、1期目(2011年から4年間)の経済政策に対する国民の不満がありました。最低賃金引き上げなどで消費のてこ入れを図ったものの、インフレをもたらしました。その後の金融引き締めで景気は低迷し、景気対策による支出増で財政が悪化、市場の評価は低いものでした。

ポイント1 新財務相指名で経済政策を刷新 経験豊富なレビ氏に期待

- 経済政策を刷新する取り組みの中心として、財務相の人事が注目されていました。ルセフ大統領は11月27日、ジョアキン・レビ氏を次期財務相として指名しました。
- 同氏はシカゴ大学で経済学を学び、国際通貨基金(IMF)、欧州中央銀行(ECB)、ブラジル財務省などで経済の分析や政策の立案などに従事した経験があります。直近は国内の大手資産運用会社の社長を務めていました。市場では、財政再建や物価抑制を優先して、中長期的な経済の安定成長を目指すとの期待が高まっています。

ポイント2 財政再建に積極的な姿勢 市場は財政目標を評価

- レビ氏は財務相への指名受諾に当たりスピーチを行い、財政再建に積極的に取り組む姿勢を明らかにしました。具体的な目標としては、利払いを除く財政収支の黒字を2016年までに名目GDP比2.0%以上とすることを挙げました。
- 財政収支の数値目標は大胆な改善を目指すものではないものの、基準の透明性を高める姿勢も示されたことなどから、市場では現実的で信頼できると好意的に受け止められたようです。



今後の展開 財政再建で国債利回りの低下、中長期的な成長率の向上に期待

- 財政面からの短期的な景気下支えは期待薄
レビ氏は特定品目への消費支援策などを避け、政策の透明性を重視すると見られます。一方、財政面からの短期的な景気下支えは期待しづらい状況です。
- 中長期的な経済成長率の引き上げに期待
レビ新財務相を中心とした第2次ルセフ政権の経済政策は、政府財政への信頼を高め、国債利回りの低下につながりそうです。投資資金の流入が増えることで、中長期的に経済成長率が向上することが期待されます。

ここもチェック! 2014年11月27日 最近の指標から見るブラジル経済(2014年11月)
2014年10月27日 大統領選決選投票の結果(ブラジル)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。